

「でんきと私」

電気科2年 柳井 耀太

「電気ってやっぱりすごいな！」

高校生になって電気のことを勉強し、知っていくうちにそう思うことが多くなりました。電気は一番身近にあるもので、今まで使ってきた存在です。姿・形は見えないし、触ることのできない不思議なものだと小さいころから思っています。幼稚園生のころコンセントについて疑問に思ったことがありました。そこで僕は観察をしてみました。いろいろな角度や懐中電灯を使って中を見ようともしました。どうしてここにプラグを指すだけで扇風機が回るのか。その時は全く分からなかった。ですが、高校で勉強する機会があり、あの時に疑問に思ったことを考えることができました。だいたいどのような原理で動くのか少し理解でき、幼稚園生から不思議に思っていたことが少し解決できとてもうれしいです。最近だと少し遠出をする機会があり、新幹線に乗りました。その時にそういえば新幹線はどうやって動いているのだろうと考え調べてみました。僕は自動車と似たエネルギーで動いているのではないかと考えました。ですが僕が考えていたものとは違い新幹線は電気で動いていました。どの様な場所にでも電気が使われているのかを深く知るたびに衝撃と知恵、感動をくれるそれが電気だと思います。高校に入って電気のことや電気の活用方法、電気の歴史について日々学んでいます。これから就職したあとも電気は僕たちにとってかけがえのないもので、今ではないと生活していけない大事なものであると思います。これからは、電気自動車や人工知能として形を変えて僕たちと生きていくものです。電気と私というテーマについてありますが一人ひとりが考えて生活をしていくことで、電気の力でいろいろな分野で夢を実現させることができると思いました。